

「卒園生集まりの会」を開催しました

8月11日(日)「卒園生集まりの会」を開催しました。当日は、16名の卒園生が参加し、在園児、退職した元職員など合計で約80名で盛り上がりました。

今年度は卒園生の希望もあり、BBQをしながら楽しく談笑したり昔のアルバムを見ながら卒園を見守ってくれた職員と現在の自分自身の奮闘振りを話してくれていました。「来年度も山の日に集ろう」と話しながら、笑顔に包まれる良い雰囲気を作れたと思っています。

卒園生からも、「また帰って来るからね～」と次に会う時まで元気でいる事を誓い、会が終了しました。(児童課 小林)



相模原南児童ホーム通信



「生き物担当の役割」

今年の夏は毎日のように熱中症警戒アラートが発令され、身の安全のため、子どもたちも室内で過ごすことが多かったと思います。わんぱくな子どもたちは、朝夕の時間に「クワガタ捕まえたよ」「ヤモリ捕まえたけど餌は何を食べるの?」と生き物担当の所長に報告に来てくれます。昨年からグラウンドの片隅にカブトムシの幼虫の餌となる木のチップを置いてありますが、今年は確認できただけでも30匹が成虫になりました。気候との因果関係があるのか分かりませんが、殆どがオスでメスは2匹しか確認できませんでした。

初めてカブトムシを触った2歳の子どもは、カブトムシが大好きになり、毎日カブトムシを手に取り喜んでいました。ホームの生き物担当として、観察して、手に取って、育てる、子どもたちに「命の大切さ」伝えていきたいと思っています。

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央



児童養護施設での療育活動について

子どもの時に何か出来たという体験はとても大切です。小さな子どもが「みてみて」と自分の発見や成功を大人に見て貰おうとする場面は微笑ましい気持ちになります。そして、子ども達は大人との間で積み重ねていった体験を基にして、子ども同士の輪・学校・地域等のより広い社会的な場へとその活動を伸ばして自信を培っていきます。

児童養護施設には様々な理由で親元から離れた子ども達が暮らしています。昨今、ゆっくりと成長していく「グレーゾーン」や「発達障害」といった言葉を耳にすることも増えましたが、施設にいる子ども達にも「グレーゾーン」や「発達障害」の子ども達がいます。児童福祉法において、「全ての児童は、-略-心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られること」とされており、「グレーゾーン」や「発達障害」の子が勉強や運動が苦手ということだけでなく、健やかな成長の機会が少ないというのはこの理念にどこかそぐわないように私は思います。

写真は子ども達と面白いもの探しを公園ですてきた時の

写真です。いくつになっても、どんな子どもでも、些細なことから子ども達が出来たという体験を積み重ねて自信の芽が育つ機会を作っていきたいと考えています。その為の試みの一つとして、昨年度から私たちの施設では隔週の頻度で療育活動を行っています。(心理療法担当 黒岩)



子どものための里親制度を知る

ZOOM
開催

プチ相談会

対象
相模原市民
の皆様

<内容>

- ・里親制度説明
- ・事前の質問への回答
- ・質問コーナー

子どものための制度ってどういうこと? どうしたら里親になれるの? 働いていたら難しいの?等々疑問に感じることを解消して、私も里親になれる?と考えていただく機会になれば嬉しいです。

実施日

2024年10月25日(金)

2024年12月14日(土)

2025年 2月16日(日)

時間:各回18時~19時

お申し込みはメールをお願いします

メール minami-satooya@chusinkai.jp

①~④を記載の上お申し込み下さい。

①氏名(ZOOMで使用する)

②住所 例:中央区相模原

③ZOOMで使用するアドレス

④事前に質問を募集します。

(ZOOMの中でお答えします。)

申込み
QRコード



締め切りは各回2日前まで

<問い合わせ先>

相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」
〒252-0231中央区相模原5-1-20 南栄ビル402
電話 042-704-8433 (平日 土日祝日 午前9時~午後6時)

ご寄付お礼 [2024年4月~6月]

いつも熱いご支援、ありがとうございます。

株式会社セクメット 瀬戸 誠 様/ニラク 海老名本郷店 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/相模原南地区更生保護女性会 様/日本ロードマーク株式会社 様/松本 京子 様/豊浦 正道 様/フードコミュニティ代表 中臺 ひろし 様/田所 利一 様/PAG 様/日広建設株式会社 様

ディズニーランド、ディズニーシーにご招待頂きました



8月9日(金)にPAGの皆様へディズニーランド、ディズニーシーに招待していただきました。今までもディズニーランドに招待していただいたことはありましたが、ディズニーシーには始めて招待していただいたので施設の中で初めて行く子どもも多く、とても楽しむことができました。

ディズニーランドの方も幼児さんでは初めて行く子どもが多く、夢のような光景に目を輝かせていたようです。チュロスやミッキー型のアイス等ディズニーならではの食べ物もたくさん食べて、みんなとても満足そうにしていました。

夏真っ盛りでとても暑かったので、水分補給に気を付け、できるだけ日陰で休憩をとることを意識しました。それにより大きく体調を崩す子どもおらず、無事に帰ってくることができました。行き帰りのバスではお盆の期間ということもあり渋滞にはまってしまいましたが、それぞれで楽しく話しながら過ごし、移動の時間も良い思い出になりました。誠に有難うございました。(児童課 吉田)

流しそうめんと花火



7月29日(月)に子ども部会行事の「流しそうめん、花火」を行ないました。毎年お世話になっている当法人の高齢者施設、中心荘からとても立派な竹をお借りして本格的な「流しそうめん」を行いました。始める前に流しそうめんのやり方を教えると目を輝かせて「早くやりたい」と待ち遠しい様子もありました。いざ流れてくるそうめんを掴もうとすると中々掴めずに苦戦している子ども達もいました。そうめんだけでなくきゅうりやオクラ等も流し楽しみながら食事をすることができました。

そうめんを食べた後は手持ち花火をやりました。花火を怖がる子ども中にはいましたが、パチパチと燃えあがる花火を見て「きれい」「もっとやりたい」等の声があがり大満足の様子でした。毎年夏を感じられる行事をする事で子ども達も良い思い出になっていると思いますので子ども達が楽しめる様な行事を来年もできるようにまた計画を立てていきたいと思います。(児童課 関)



アルバイト体験



高校生二名が日広建設株式会社様にて一日アルバイトをさせていただきました。作業内容として、ひとり親のご家庭に食料品を送るために食品や日用品を梱包するといったものでした。二人とも初めてのアルバイトでしたが、優しく仕事を教えていただいたり、昼食をご馳走になったり楽しく充実した経験になりました。二人にアルバイトの感想を聞いてみました。

「梱包などはもともとやったことがあった、パズルが好きだから梱包する時はピタっとはまって楽しかった」「梱包してみて、ただ詰めるだけじゃなくて届いたらどんな気持ちになるかな?と調べてやってみた。受け取った人の気持ちを考えてやるのも大事ななと思った」と楽しく学ぶことができました。

この経験を活かしてこれからも頑張ってもらいたいです。改めて日広建設株式会社の皆さま、貴重な体験の場を設けて頂きありがとうございました。(児童課 杉山)



子どもたちの生活の様子

職員だより



みなみっこ全員集合!

5月19日(日)に昨年に引き続き「みなみっこ全員集合」を開催致しました。沢山の子どもたちが大きくなった姿で会いに来てくれました。会場に入る前の受付から「大きくなったねー!」「こんなに元気いっぱいなんです!」と元気で明るい会話が弾み、とても賑やかに始まりました。会場にはボール入れや輪投げ、お菓子のくじ引き、思い出の絵本コーナーを用意しました。

特に絵本コーナーでは入所時に読んでいた赤ちゃん絵本を職員と一緒に読み、お互いに思い出を振り返ることが出来ました。その後はパネルシアターを行い、みんな大好き「はたらくるま」の歌を会場みんなで大合唱しました。会場内では終始「おひさしぶりだね」「歩けるようになっただね」「背がのびたね」など子どもたちが元気に大きく成長した姿と一緒に喜び合うことができ、笑顔あふれる会となりました。

これからも、「つながり」を大切に、また次回も元気な姿で会いに来てくれることを職員一同心待ちにしております。(乳児課 寺本)



日中保育活動



日中、幼稚園へ行っていない子を預かり保育しているのがピッコロ、園内保育所です。

子ども達は、ユニットから1階の保育室にきて、身支度を済ませて、自由遊びから1日がスタートします。四季を感じる制作活動、ハサミや糊の使い方、色々な画材にふれます。公園への外出では、施設にない遊具を体験、自分の身体の使い方、バランス感覚を覚えます。お買い物、それぞれのお店で、どんなものが売られているか?どのように買うか?をみて、お買物を実際に体験します。

日常生活面でも、言葉の発達、トイレトレーニング、衣服の着脱、食事のマナー等を補助し、自分でできるように促しています。ピッコロでは、少人数で家庭的な保育を目指し、日々、子どもに色々な体験をさせてあげたいという思いで保育に取り組んでいます。そして、出来るようになったことを子どもと一緒に保育者が喜び、子どもの自己肯定感を高め、年度末、次のステップである幼稚園へと送り出します。

(児童課日中保育担当 玉木)

手作りアイス



昨年度よりも暑く感じる今夏ですが、子ども達は危険な暑さで外に散歩に行けない為、今年はベランダでの水遊びの機会を増やしたり、手作りのアイスを食べる暑さを紛らわしています。やはり水遊びはみんな大好きで、おもちゃのじょうろでお互いに水をかけ合ったり、職員に水をかけようとするいたずらっ子達も良い表情で遊んでいます。手作りアイスはカルピス味や、毎年ユニットで作っている梅シロップを使ったアイスを食べています。

お昼寝から起きた子ども達に「今日のおやつはアイスだよ」と伝えると、お話の上手な子は「やったー」「梅アイス?梅アイス?」と嬉しそうなお話で話す子もいました。その梅シロップもそれぞれの名前を書いた入れ物に梅と氷砂糖を入れて、子ども達は氷砂糖が溶けるまで毎日一回入れ物を振り振りして、完成を楽しみにしていました。外で遊ばなくても、毎日夏らしい楽しさを職員子どもと一緒に味わっています。(乳児課 佐伯)



私たちの想い

常に子どもたちに寄り添い、日常の中でより良い支援ができるよう心掛けています



私が相模原南児童ホームで働いていて常に意識している事は「笑顔」です。ここで生活している子ども達と一緒に働いている職員の笑顔を引き出す事、自分自身が笑顔の回数を増やす事で全体的に明るく前向きになれるからです。

子ども達と接していると予想をはるかに上回るできごとや臨機応変な対応を求められる事もたくさんあります。その都度楽しい事、辛い事を共感し、日々子どもの成長を感じられること、卒園をした後に子どもたちから感謝の気持ちを伝えてもらえる事はこの仕事の1番のやりがいです。

これからも安心して生活できるようたくさんの笑顔を引き出しながら支援していきたいと思います。(児童課 関)